

- 二、神戸市海員ホーム建設運動経過報告
- 三、上海及揚子江方面出張事務報告
- 四、失業海員救済資金支出
- 五、組合政治部確立

## 組 織 部 報 告

一九二九年ウォール街に勃發せる株式恐慌を前奏曲として燎原の火の如く全世界に擴大した經濟恐慌は本年度に於ては更にイギリス金本位制の停止、フーパー、モラトリアムの宣言、上海滿蒙事變の發生、我國の金輸出の再禁止等の國際的全局面の混亂と相俟つて益々尖鋭化するに至つた。かくして我國重要産業の一環として全世界の經濟動向を最も敏感に反映する我海運界が本年度に於て一段と深刻なる痛撃を被つたことはいふを俟たない。

しかるに恐慌の原因が資本主義經濟機構の諸矛盾の對立激化の中に存することの根本的認識を缺除せる海上資本家群は、彌縫を事とし、恐慌の暴威の前に徒らに無力を暴露するのみであつた。加ふるに銀行、保險業者等の金融資本家の前に全然無氣力なる彼等は一切の損失を勞働階級に轉嫁せんとする勞働條件の劣惡化を以つて僅に苦難を迴避すべく狂奔した。

本年度に於て組合組織部が當つた各種交渉が昨年度に比して五割七分の増加を示し、その中、繋船手當交渉が約二十件の激増を見たる事實に徴するも海運恐慌の波が如何に峻烈であつたかを容易に察知し得るであらう。

かくの如き海運恐慌の深刻化に對應する資本家群の狂暴的攻勢に對して組合は過去十ヶ年の血みどろの闘争によつて獲得し

た陣營を最も効果的に保持する意味に於て、失業の防止、失業海員の救済等、重に防衛的闘争に主力を傾倒したことは客觀的情勢から見ても正しかつたといはなければならぬ。

しかもかかる苦難の中にあつて尙我等の陣營に参加する同志各月數百を超へ、本年度末に於て組合員總數正に九萬三千を突破するに至つた。この事實こそ、如何に強力なる外部的壓力をもつてするも微動だにせざる我等の陣營の、盤石の如き強大な物語るものである。

### 本年度に於ける月別加盟者數

六月四月	五三〇	十月	二〇四
五月	七四三	十一月	二二九
六月	六一五	十二月	二五三
七月	五四九	七年一月	三三〇
八月	三二六	二月	四七九
九月	三三四	三月	二八九
合計	四、八八一		

昭和五年度末組合員數

八九、一九七

昭和六年度末 同

九三、七三六

### 昭和六年度末組合員各部別表

甲板部	三〇、一八七
機關部	四三、五五一
司厨部	一九、九九八
合計	九三、七三六

除籍者	二二六
死亡	五三
内譯規約違反者	四六
任意退會者	